

平成12年 2 月 19 日
原子力安全対策課
(11 - 147)
<12時45分資料配布>

大飯発電所 2 号機の原子炉手動停止について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

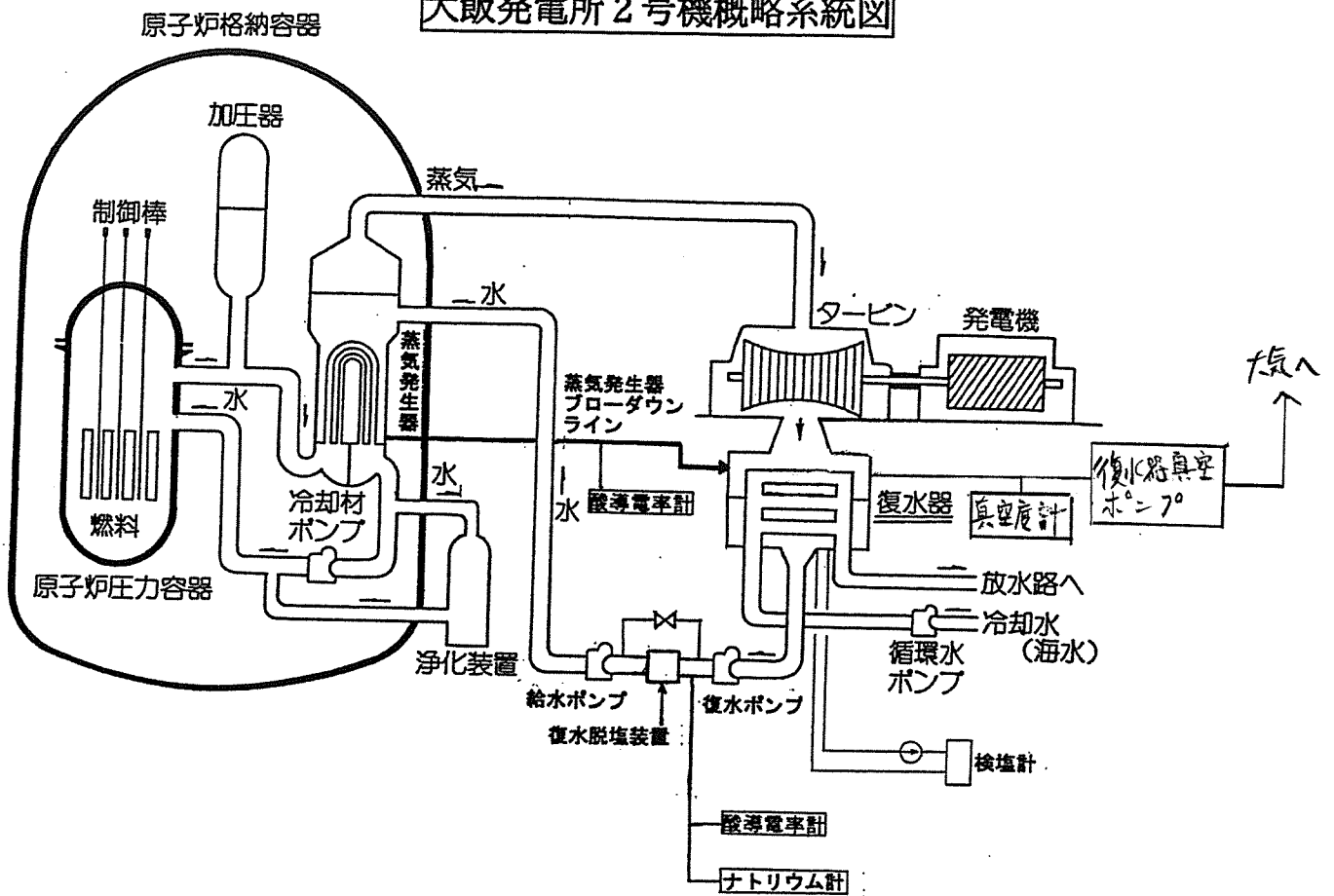
記

大飯発電所 2 号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万kW）は、復水器への海水漏えいのため、2月14日から電気出力を60％に降下し、復水器伝熱管等の点検・補修を実施していたところであるが、本日10時35分頃から復水器の真空度が低下しているのを運転員が確認し監視強化を行っていたが、低下傾向が続いたため、10時46分から出力降下を開始した。その後、10時49分、復水器の真空度が約 580mmHgまで低下したと判断し、タービン保護のためタービンを手動で緊急停止させ、これにより原子炉も自動停止した。

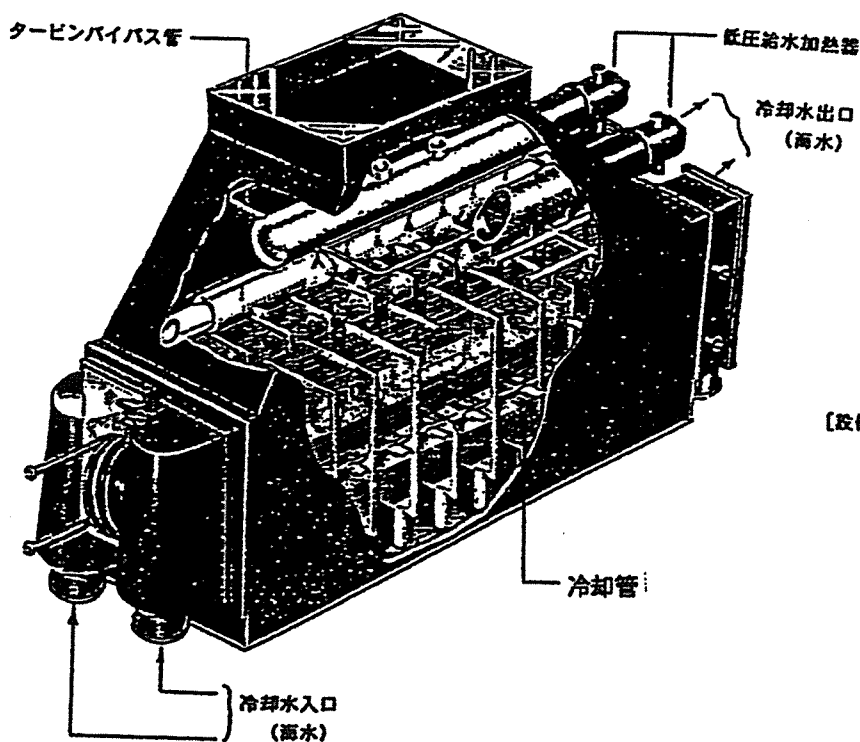
なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

復水器の真空度が低下した原因については、現在調査中である。

大飯発電所2号機概略系統図



復水器設備仕様および概要図



【設備仕様】	設備数量	3台
	型式	表面冷却式単流半区分3段平行流型
	本体材質	炭素鋼
	冷却管外径	25.4mm
	冷却管厚さ	1.245mm
	管板間距離	15.24m
	冷却管総数	86.172本/6水室
	冷却管材質	黄銅管